

安全データシート

改訂日:2022年8月23日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

しゅう酸ナトリウム
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CB1806

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性
ラベル要素
絵表示又はシンボル

眼に対する重篤な損傷・眼刺激:区分2A



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告
強い眼刺激
【安全対策】
適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
【廃棄】
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

化学物質
シュウ酸ナトリウム
—
 $C_2Na_2O_4$
CAS RN: 62-76-0
シュウ酸ナトリウム 99%
(2)-922
HSコード: 2917.11

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

化学物質が除去されるまで、多量の水と石鹼で洗うこと。
医師の手当、診断を受けること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
棒状放水
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服(耐熱性)を着用する。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
風上に留まる。
密閉された場所に立入る前に換気する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材／二次対策防止策

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項

接触回避
衛生対策

保管

技術的対策
安全な保管条件
容器包装材料

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

眼に入れないこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

粉じん、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

該当情報なし。

取扱い後はよく手を洗うこと。

毒劇法の規制に従う。

容器を密閉して換気の良い冷しい場所で保管すること。

ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

管理濃度
日本産業衛生学会
ACGIH

設備対策

保護具

呼吸器の保護具
手の保護具
目の保護具
皮膚及び身体の保護具

未設定

未設定

未設定

この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

適切な呼吸器保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

適切な眼の保護具を着用すること。

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色

臭い

融点/凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲

燃焼性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点

自然発火温度

分解温度

pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度

蒸発速度

結晶性粉末

白色

無臭

260℃

該当情報なし。

不燃性

該当情報なし。

引火せず。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

3.7g/100g(20℃水)。アルコール、エーテルには不溶。

logPow=-7.00(推定値): PHYSPROP

19 1E-008mmHg(25℃)(推定値): PHYSPROP

2.27

該当情報なし。

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

誤えん有害性

ラットのLD50=11160mg/kg(RTECS, 2000)に従って、区分外とした。

データなし。なお、しゅう酸(ID No.0595、化学物質を特定できる一般的な番号144-62-7)に準じて皮膚刺激性を示す可能性がある。

ECETOC TR48(2)(1998)のウサギの試験では、最終観察日である処置後14日目において3匹中2匹はほぼ回復したものの、残る1匹にはあまり回復がみられなかった。処置後21日目における回復具合のデータはないが、処置後24、48、72時間目のドレイズスコアの平均値、並びに処置後7日目において3匹とも完全な回復はみられなかったことから、区分2Aとした。

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

短期:
(急性)

該当情報なし。(分類できない)

長期:
(慢性)

該当情報なし。(分類できない)

残留性・分解性

該当情報なし。

生体蓄積性

該当情報なし。

土壌中の移動性

該当情報なし。

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上
望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

—

品名(国連輸送名)

—

国連分類

—

容器等級

—

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がな
いよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

劇物(第2条別表第2)[蓆酸塩類]

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[シュウ酸ナトリウ
ム][施行令別表9](2026年(令和8年4月1日)以降)

危険性又は有害性を調査すべき物[シュウ酸ナトリウム]

(2026年(令和8年4月1日)以降)

危険物に該当しない。

消防法

16. その他の情報

参考文献

職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

16615の化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではあり
ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ
等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではあり
ませんので取り扱いには十分注意して下さい。